

# 第1回 クライアント管理勉強会

ここだけは押さえないクライアント管理～熟練者が語る企業におけるIT資産管理術～

2011.9. 13

国際興業株式会社

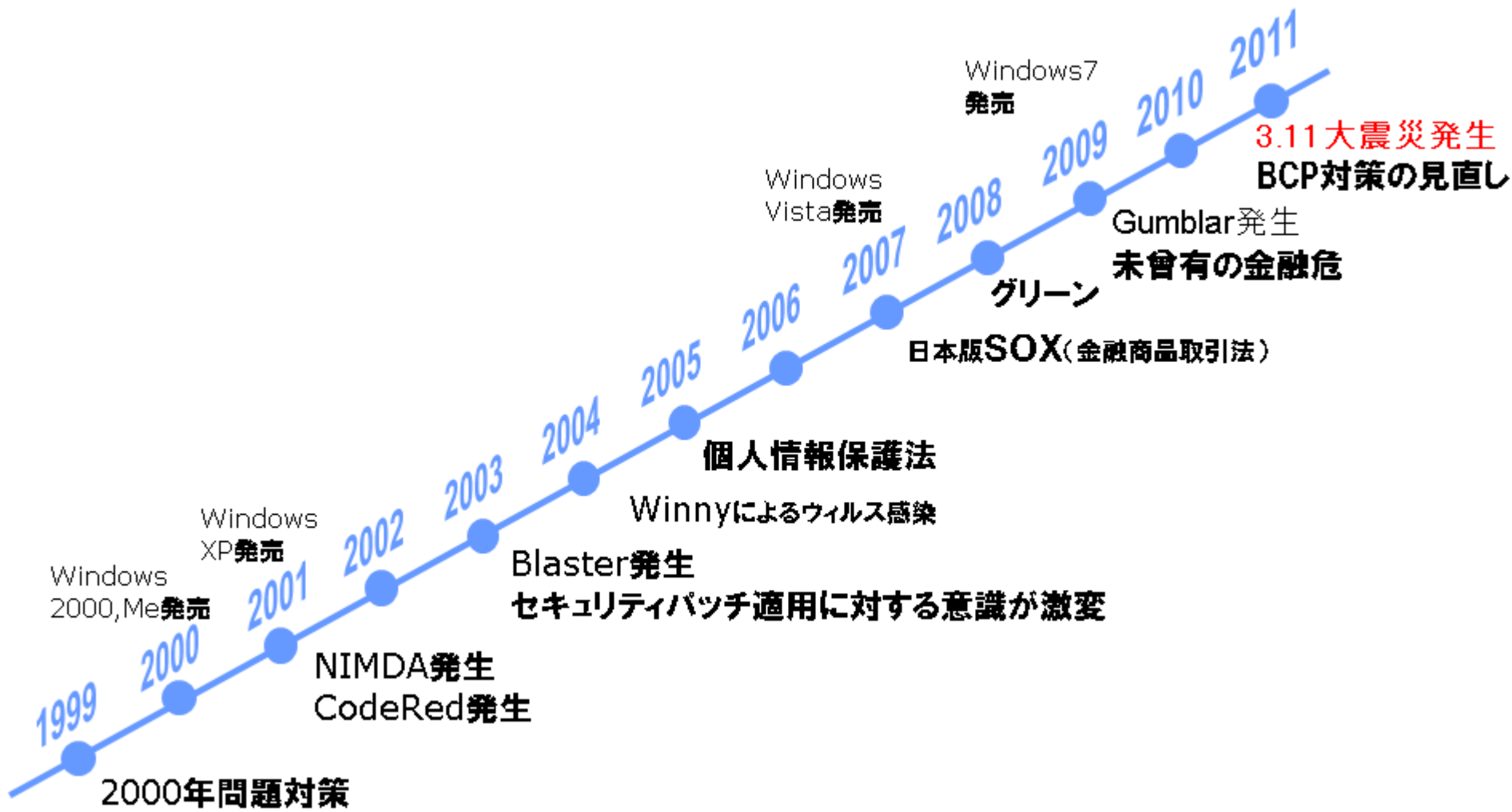
仲谷 美乃里

# アジェンダ

- 過去10年を振り返る
- 企業を取り巻くIT環境の変化
- 現在の動向
- PC管理のあるべき姿
- PC管理の実務
- 国際興業株式会社の事例



# 過去10年を振り返る



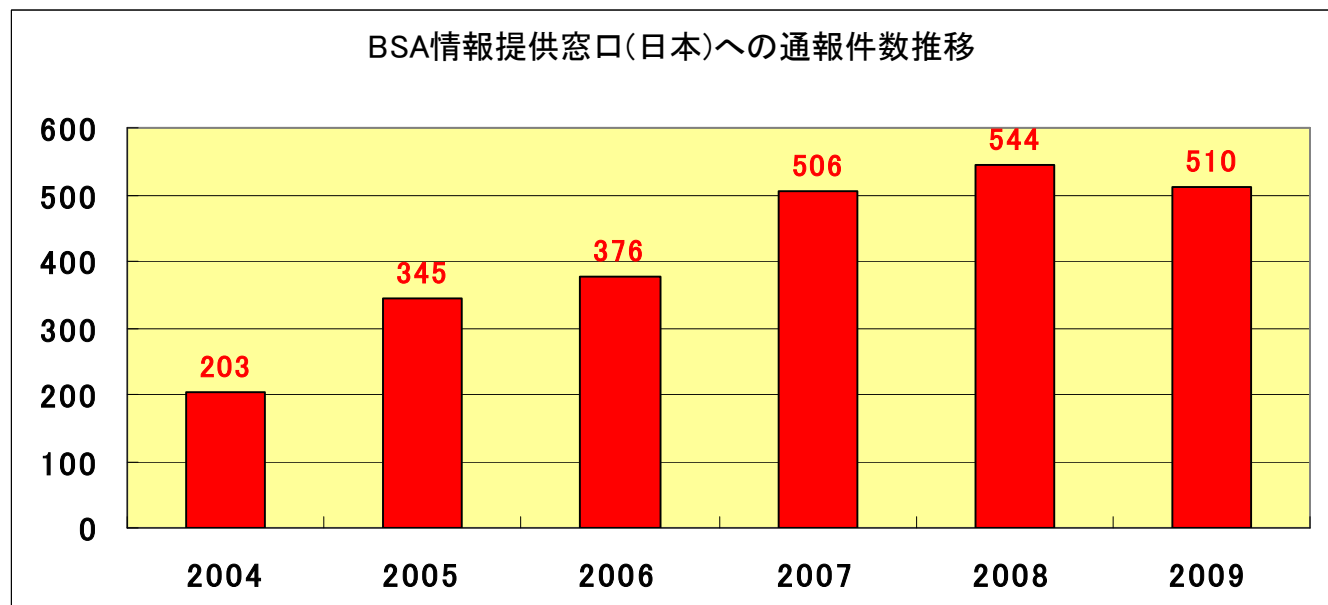
# 企業のPC管理に関わる事件・事故報告

表:2010年上半期 個人情報漏えいに関するデータ

漏えい人数	127万383人
インシデント件数	684件
想定損害賠償総額	364億3705万円
一件当たりの平均漏えい人数	1951人
一件当たりの平均損害賠償額	5597万円
一人当たり平均損害賠償額	4万823円

(出典)JNSA:2010年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書【上半期 速報版】

表:BSA情報提供窓口(日本)への通報件数推移



(出典)BSA:違法告発.com

# 企業の情報セキュリティ脅威

表:2011年度版10大脅威

順位	10大脅威
1位	「人」が起こしてしまう情報漏えい
2位	止まらない!ウェブサイトを経由した攻撃
3位	定番ソフトウェアの脆弱性を狙った攻撃
4位	狙われただしたスマートフォン
5位	複数の攻撃を組み合わせた新しいタイプの攻撃
6位	セキュリティ対策不備がもたらすトラブル
7位	携帯電話向けウェブサイトのセキュリティ
8位	攻撃に気づけない標的型攻撃
9位	クラウド・コンピューティングのセキュリティ
10位	ミニプログラムサービスやSNSの利用者を狙った攻撃

(出典)IPA:2011年度版10大脅威

# 企業を取り巻くIT環境

- 企業Webサイトの改ざん被害
  - 個人情報漏洩問題
    - USBメモリ等の可搬記憶媒体の普及
    - 従業員による持ち出しと、抑制方法の混迷
  - ソフトウェアライセンスの厳密な適用
  - スマートデバイスの普及による対策の急務
  - ソフトウェアの脆弱性とゼロ・デイ攻撃
- ⇒ITに関わるリスクが多極化



ITシステム管理者の  
仕事が増え！！

## 現在の動向

- 3.11大震災の影響
  - BCP対策の見直し
  - 節電対策の実施
  - 見えない景気不安
- ソフトウェア著作権団体の活動強化
- 止まらない情報漏洩

計画的な対策が必要！！



# 私たちに求められる確実なPC管理

## ■ PC管理のあるべき姿

- 組織内ユーザにITサービスを『効果的』かつ『適切』に提供
- 組織外からの様々なアタックからの防御(法律等)
- 組織外からの訴訟リスクの低減(約款違反、情報漏洩等)

## ■ 理想と現実の間で、私たちはどこから手を付ける？

### □ 現実

- 人手も予算も少ない
  - すべての技術を持ったスーパーエンジニアは居ない
  - ものごとには、**優先順位**をつけよう！
  - 継続的に管理するには、**自動化**が必須
-



# PC管理のあるべき姿を知る

## ■ ハードウェア

- PCの台数、構成管理
- 使用状況の把握
- 使用電力の把握
- 管理対象外PCに対する対策

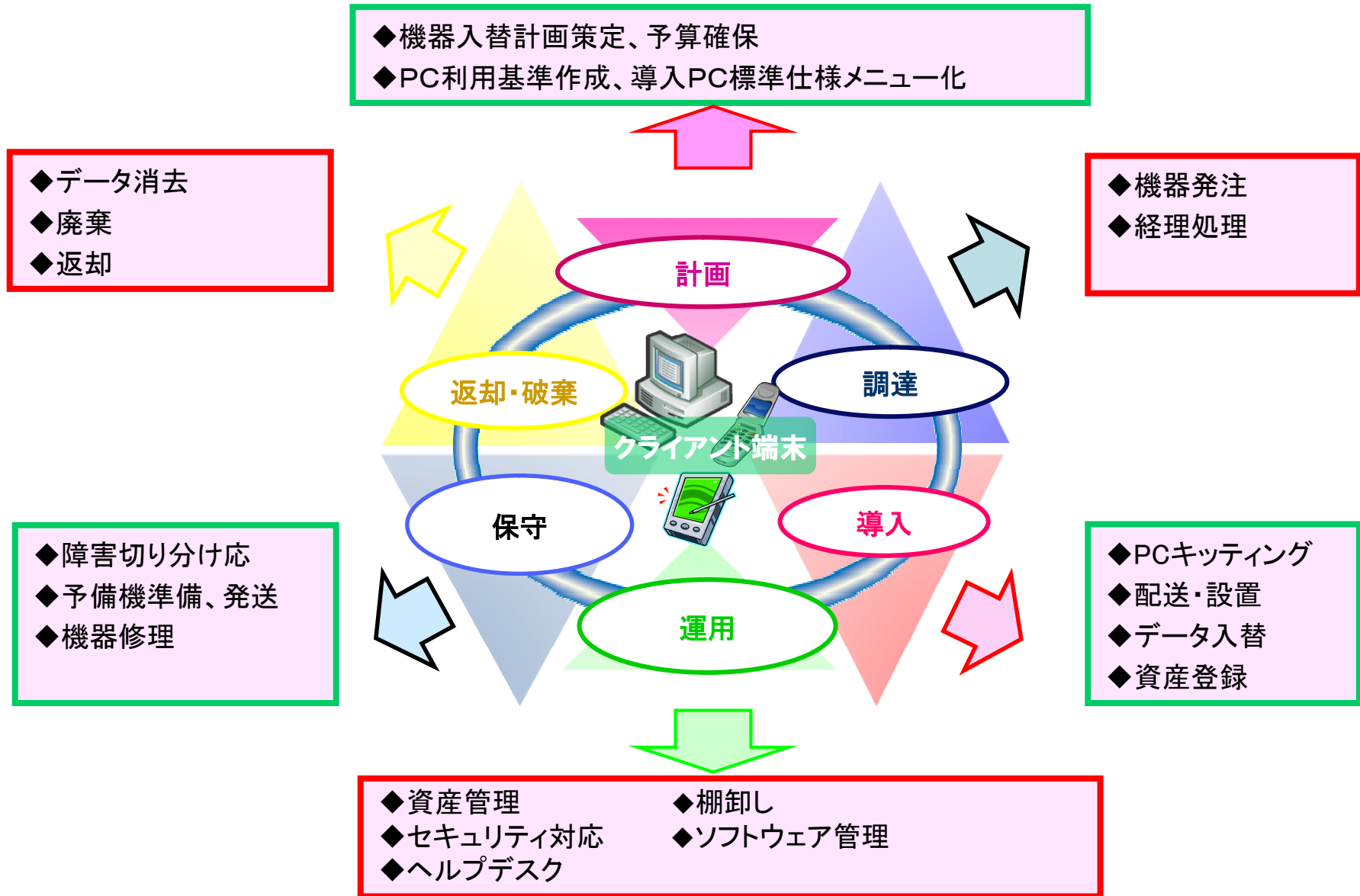
## ■ データ・人

- 組織内外でのデータ移動の統制
- PC操作ログの取得

## ■ ソフトウェア

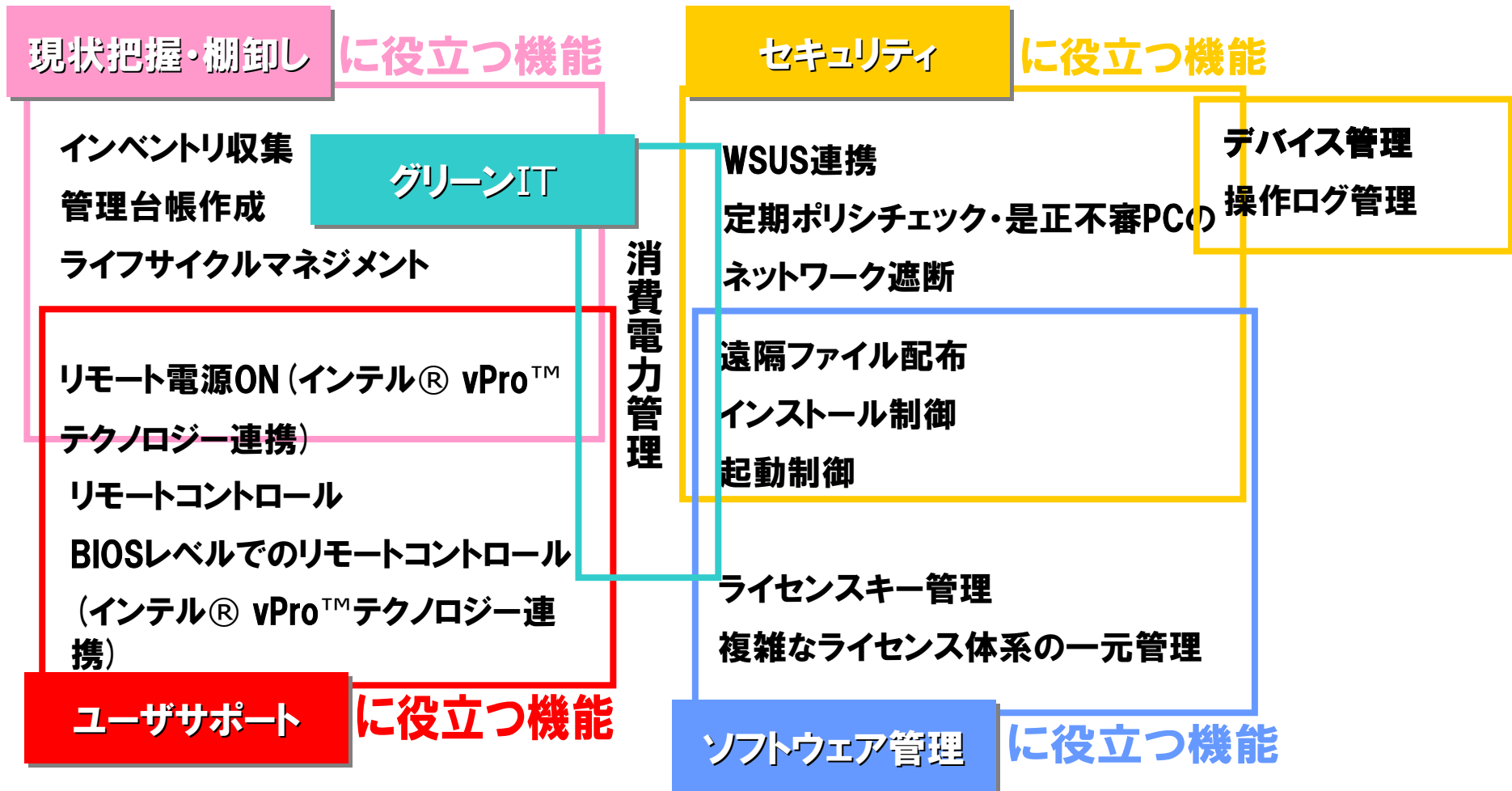
- 使用しているソフトウェアの把握
- ライセンス管理
- パッチ適用
- ポリシ適用
- 業務外利用の抑制
- 危険ソフトウェアの起動制御

# クライアントPCライフサイクルマネジメント



# PC管理の実務

PC管理の自動化を実現するツールの使い分け例



# PC管理の実務

QAWIによるPC管理の自動化

## インベントリ収集

ソフトウェアのインストール情報の収集/ハードウェアの構成情報の収集  
etc

## 各種台帳作成

クライアントPCより取得したインベントリ情報を元に台帳を作成

## ソフトウェア遠隔自動インストール ファイル配信

アプリケーションのバージョンアップ/ウイルス定義ファイルやセキュリティパッチの更新

## クライアントPC構成維持・管理

レジストリ/INIファイル設定・変更/脆弱性監査

## 初期展開・管理除外の自動化

クライアントPCの導入・ポリシー設定から管理除外までのライフサイクルマネジメントの自動化

## クライアントPCの電力管理による 電気代削減

グリーンIT対応

## インテル® vPro™テクノロジー対応

クライアントPCの電源管理(オン/オフ)、HW障害対応、セキュリティポリシー違反PCの遮断

## ソフトウェア利用制限

不適切なソフトウェアの起動を禁止/使用禁止ソフトウェアのインストール制限

## アプリケーション利用状況把握

クライアントPCごとにソフトウェアの使用時間を測定

## ネットワーク遮断

クライアントモジュールがインストールされないPCのネットワークからの遮断

## ライセンスキー

ソフトウェアのライセンスキーを一元管理

## 定期ポリシーチェック・是正・抑止

ポリシーチェックとポリシーに合致しないPCの是正・利用抑止

# 会社概要

- 社名 国際興業株式会社
- 創業 1940年(昭和15年)5月15日
- 本社 東京都中央区八重洲2-10-3
- 代表者 小佐野 隆正
- 事業内容 運輸交通・観光レジャー・流通商事・不動産・・・他
- 従業員数 2,400名

QAWライセンス数:980



## 国際興業株式会社の事例



PC管理において何をどこまで管理したらいいのかわからなかった・・・

→資産管理に関するセミナーに参加する事で、理想とする像が見えてきた

→セキュリティ対策を客観的に診断してもらった

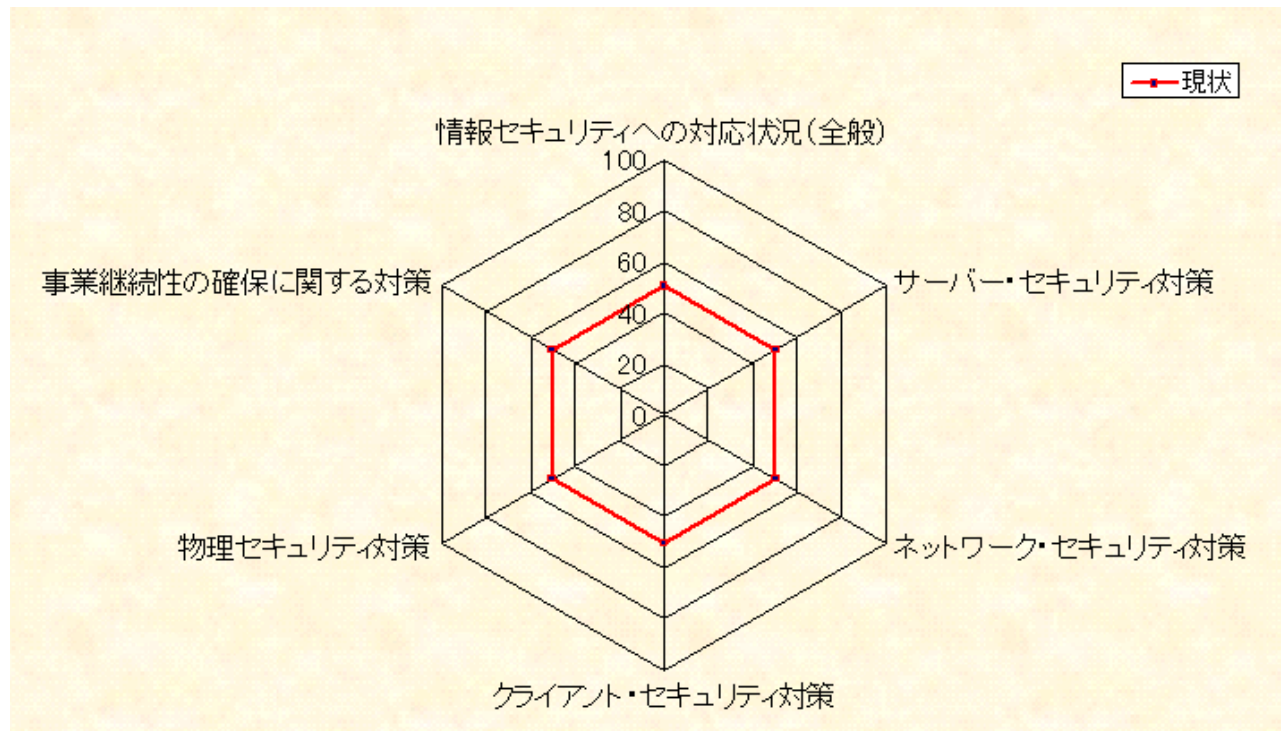
優先順位をつけて理想までの階段を昇ることに

# 参考:セキュリティ対策の現状分析

## ■ 専門企業による情報セキュリティ対策診断

→課題・対策の見える化

※公開用として数値は全て50としています



## 国際興業株式会社の事例



資産管理台帳が多すぎて、それらの整合性を保つのに労力を費やしていた  
何が正しいのか？分からなくなることも・・・

→各管理台帳の押さえるべき項目を洗い出し、  
項目が2つ以上重複しないよう整理を行った

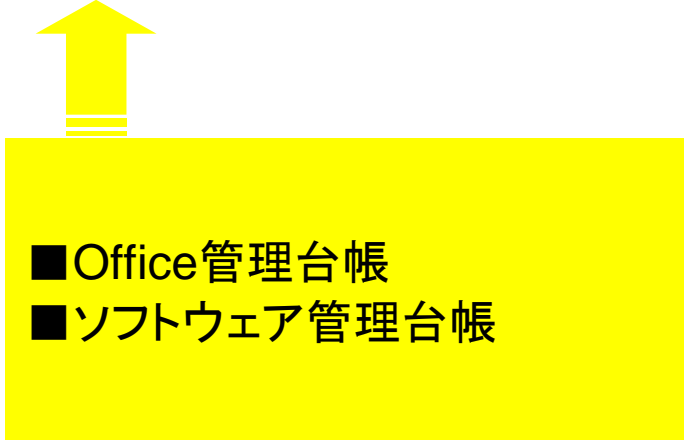


# 各種管理台帳の見直し

<Before>

- ①NotesDB「PC管理台帳」
- ②費用管理エクセル表
- ③Office管理台帳
- ④ソフトウェア管理台帳
- ⑤QAW
- ⑥移動履歴エクセル表

<After>

- ①NotesDB「PC管理台帳」  
→費用管理もできるように
  - ②QAW
- 
- Office管理台帳
  - ソフトウェア管理台帳
- ③NotesDB「移動履歴」

## 国際興業株式会社の事例



QAWを導入しているのに、うまく活用しきれてなく、歯がゆさを感じた

→すぐ利用できる機能は利用

→PC管理の理想像と照らし合わせ、QAWで解決できることを模索し、優先順位をつけ業務改善

## QAWですぐに利用できた機能

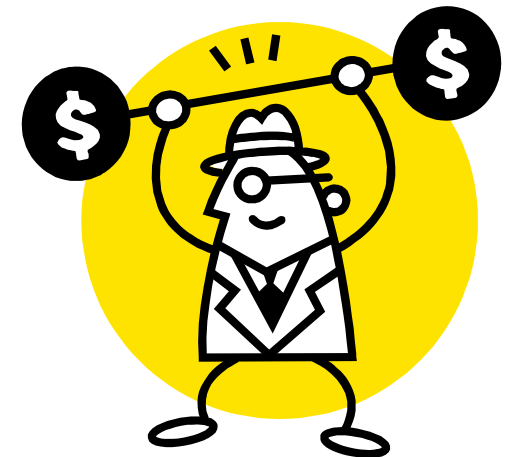
- ソフトの配布  
→ソフトのバージョンアップを全社的に行わなければならない時があり、QAWのソフト配布機能を利用
- アプリ起動制御  
→セキュリティ観点から情報漏えいリスクのあるアプリを起動させたくなかったため、QAWにて設定
- レジストリの書き換え  
→業務ソフト起動時の不具合が全社的に発生し、レジストリの値を変えなければならない事があり、QAWを利用

機能		現状	重要度	対応
1. ホスト情報の把握	ハードウェア情報	<b>現状に対する評価とコメント</b>		<b>重要度と対応策</b>
	ソフトウェア情報			
	ウイルス対策ソフト情報			
	Adobe社製品情報			
	プリンタドライバ情報			
	フォント情報			
	AutoCAD情報			
	クオリティ社製品情報			
	レジストリ/INIファイル情報			
	利用者の任意情報			
	iAMT情報			
	電力使用量情報			
2. ソフトウェア管理	ソフトウェア情報の確認			
	ライセンスの管理			
	License Guard機能			
	ソフトウェアの配布			
	ソフトウェアの配布設定統一			
3. ホストの管理	未登録ホストの確認			
	未許可PCのネットワーク遮断			
	ネットワーク機器の把握			
	iAMTホストの把握			
	リース資産の管理			
	リモートコントロール			
	アプリ起動状況の把握			
	禁止アプリ起動制御			
4. セキュリティ対策	OS/IE/Officeのパッチ管理			
	OSの脆弱性診断			
	セキュリティポリシー管理			
	クライアントPCローカルPW変更			

表:QAWの現状と今後の取り組み

# QAW業務改善の取り組み

- 最優先事項
  - ・インベントリ収集率のUP!
  - ・スタンドアロン、モバイルPCへの対応策の策定
- 優先事項
  - ・ネットワーク遮断環境の構築(Viper)
- 今後の検討事項
  - ソフトウェア管理の強化



ご清聴ありがとうございました